



宮城病院周辺地区 まちづくりニュース



第30号 H27.12.2発行

協議会活動報告

11/10

宮川大助師匠との交流（はらこ飯を食べる会）の報告

宮川大助師匠は、震災直後から数十回にわたり被災者を勇気づける活動を熱心に取り組み、大船渡市の復興大使も務められています。

この度、NPO 絆プロジェクト三陸の佐藤健理事長と山元町役場応援職員のご縁で、「大助師匠に山元の被災者の声を聴かせてほしい」とのお話を受け、宮城病院周辺地区まちづくり協議会、宮城大学山元復興ステーション、町担当課で検討し、手作り料理（はらこ飯）を作り、交流をはかりましょうという事になりました。

当日は、大助師匠、佐藤さん、カメラマンを含め4名が町民グラウンド仮設住宅集会所にきました。炊飯、あら汁等の調理を見て、そのまま立ち話となり、打ち解け合い気さくな面を見せてくれました。

集会所内では、大助師匠が原案を考えた芝居の話や震災当時の話など昼食（はらこ飯）を食べながら懇談しました。

午後からは、町内視察（宮城病院周辺地区移転先工事現場⇒磯浜漁港⇒中浜小学校⇒新山下駅周辺造成現場）をし、各視察場所で震災当事から今日に至る様子を質問し聞いて下さいました。

最後に大助師匠は、「今回、被災した方からの話や視察などを防災教育の芝居の原案に活かしたい」と言っていました。

今日を始まりに今後もお付き合いを約束しました。
（記 橋本）



▲大助師匠に震災の話聞いてもらいました



▲方言がわからず通訳がはいりました



▲宮城病院周辺地区新市街地予定地を視察



▲全員で記念撮影しました

11/9

役員会／来年度のまちづくり協議会についてほか

以下の協議事項について話し合いました。

1. 災害公営住宅に関する要望素案の検討と要望提出の確認
2. ワークショップの報告は、集会所の間取りや台所の設備配置、街区公園の意見集約
3. 協議会の来年度計画は(移転者部会の新設等を協議)次回も継続審議
4. 助成金中間報告、大助師匠訪問等について

10/30

つばめの杜地区の集会所・災害公営住宅見学会の報告

今回、見学会を開催した目的は、第4回公園・集会所計画づくりワークショップに反映させるためです。見学会では、つばめの杜地区集会所と災害公営住宅を内覧しました。



▲2LDK（連棟）の間取りを見学し、分からない事は担当課に尋ねました



▲参加者に3LDK希望者はいなかったが、興味津々で見学をしました



▲見学者は「2LDK（戸建）が一番良い」と声を揃えて言っていました

10/31

第4回公園・集会所計画づくりワークショップの報告

日 時:平成27年10月31日(土)

①:午後2時～午後4時(公園・集会所について)

②:午後7時～午後8時(災害公営住宅について)

参加者数:①11名 ②13名

○集会所、街区公園の最終的な意見を出し、次回のワークショップで最終計画案を提示してもらう事になりました。

○災害公営住宅は、見学会の時に参加者から出た意見を基に町へ要望する内容を決めました。



▲災害公営住宅の整備に反映してもらうために最後の意見交換をしました

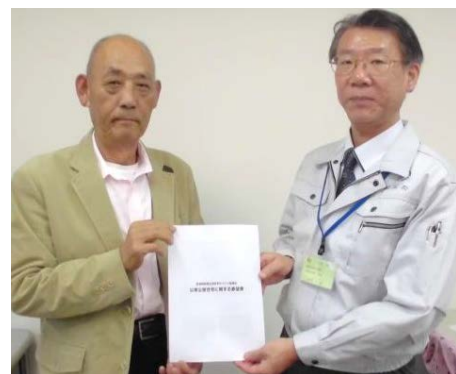
11/16

『宮城病院周辺地区の災害公営住宅に関する要望書』を提出！！

協議会として災害公営住宅の意見交換会3回と現地見学会1回を行い、意見交換会で実際にお住まいの方のお話しや見学会での意見を参考に要望をまとめ、11月16日(月)鈴木会長から震災復興企画課へ提出しました。

下記の5項目について要望しました

- ①まちなみ ②外壁 ③床(色)・壁紙(色・質感)
- ④キッチンの形状 ⑤外構の使い方



▲震災復興企画課の寺尾理事に要望書を手渡ししました

造成工事の様子をお伝えします



土砂の搬出も本格化！！

会員大募集

宮城病院周辺地区まちづくり協議会

【事務局】

宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原 100-1 14-1
080-6040-7217(根本)

入居予定者、周辺地区の皆様の「思い」
「声」を協議会で語り、発信しましょう！